



# 輝け 未来へ 中番校

## No one will be left behind



一人一人がアーティスト！誰もが、オンリーワン！！

- Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) -

明日は、二十四節気でいう「冬至（とうじ）」です。北半球で正午の太陽高度が1年で最も低くなる日で、寒さはこの頃から一段と厳しくなりますね。冬至の日は「一陽来復（いちようらいふく）」とも呼ばれます。一陽来復とは、悪いことが続いたあと、やっと幸運が巡ってくること、また、冬が終わり、春がくることです。その日を境にして、太陽の力が戻ってくる、昼の時間が段々と長くなっていく冬至は、これから運が上がってくる日と考えられていたようです。正に「復活の日」ですね。

昨日、オンリーワン集会有りました。子供達が自分の特技や頑張っていることを全校生の前で披露してくれました。子供達は本当に色々なものをもっていますね。ビデオで事前に撮影していた子供達もいました。子供達の素晴らしい可能性を見せてもらい、微笑ましく、あたたかな気持ちになりました。以前、中番フェスティバルの時に「表現者」の話をさせていただきましたが、オンリーワン集会の出場者は見事な「表現者」でした。自分の世界観をもって、自分が思うように、考えるように、表現していました。自分にしかできないこと、自分が主人公、正にアーティストでした。このように自己をしっかりと表現できることは、本当に誇らしく、尊いものであり、この中番小学校の宝だと思います。

さて、このオンリーワン集会は、この中番小学校にとっては大変歴史があるものです。ずっと昔からあるようです。私がこの中番小学校に来た時には、もうすでに行われていました。その時点で、このオンリーワン集会は、この中番小学校の特色ある活動として位置づいていましたから、長い歴史があるのだと思います。このオンリーワン集会で発表する子供にとっ

ては、一人一人が、自分ができること、頑張っていることを、みんなの前で発表するという、自分のステージをもつということは、とても貴重な経験ができると思います。また、それを見ている人にとっては、友達の知らなかった面、意外な面を再発見することができます。つまり、お互いがより深く知り合い、仲良くなれるとても素晴らしい活動だと思います。そして、誰にもできないこと、自分にしかできないこと、自分じゃなければできないこと、をする。正に、そのことがオンリーワンであることの意味だと思います。この活動は「中番小学校らしさ」がよく表れていると思います。これからは是非、多くの子供達が挑戦し、みんなで一つ一つの花をいっぱい咲かせて欲しいと願っています。全校生、127名の輝かしい、個性豊かな花、その花が集まることで、相互に響き合って、影響し合って、新たなものが生まれる、そんな気がします。子供達一人一人は、光る原石です。まだまだ、どこを、どう磨くか、未知なる部分がたくさんあるのだと思います。昨日、垣間見た子供達の輝き、誠に嬉しく、素晴らしいものだと思います。得意なこと、好きなこと、やってみたいこと、そのことをとことんやって欲しいと思います。得意なことをどんどん伸ばすことで、不得意な部分も補うことができると思います。どのような力も平均的に伸ばすこと、このことも間違いではないと思いますが、これからの時代は、「一点突破、全面展開」的な、そのような視点も必要であるかもしれません。昨日のステージを見ながらそのようなことを考えました。

いよいよ2学期も後3日となりました。子供達には、最後まで、健康で安全に、元気に、登校して欲しいと願っています。新型コロナウイルス感染症では、新たな変異株オミクロン株の感染、流行、心配な状況は続いております。全校生127名が、無事にこの2学期を終えられますよう保護者の皆様には、引き続き、感染症対策についてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきたいと願っています。